

堺自然ふれあいの森

ニュースレター 第34号

発行：平成29年3月 ふれあいの森パートナーズ(指定管理者)



イベント報告

● 森の学習（野鳥の巣箱作り）（平成28年 11月12日）

毎年小学生の参加者と共に巣箱を作成し、森の館周辺に設置しています。今年は10個、森の館や木道周辺に設置しました。5月には、巣箱に出入りする親鳥の姿や、周辺の枝に止まる巣立ち雛を観察することが出来ます。

イベントの開催前に、昨年設置した巣箱を取り外して中を確認したところ、3つの巣箱で営巣した痕跡がありました。

（シジュウカラ2、ヤマガラ1）



緑の都市賞受賞報告

平成28年4月2日、堺自然ふれあいの森は開園10年目を迎えました。「森の学校」をテーマに、人と里山文化を伝承する場として、産官学民の連携による公園づくりを進めてきました。その功績が評価され、この度、公益財団法人都市緑化機構が実施する「第36回緑の都市賞」において、奨励賞を受賞することが出来ました。



森の手入れ実施報告

ふれあいの森で暮らしている身近な生きものの姿や、成長の様子などが観察できる環境を作るために、イベント「森の手入れ」を開催しています。

活動場所は、はらっぱ広場と山すそ管理区4です。朝の10時からお昼をはさんで14時30分までの長丁場ですが、手入れ前と手入れ後の異なった景観を見て充実感ややりがいを感じている方も多いようです。多くの参加者は作業終了の時間がきても名残惜しそうに後片付けをされています。

今年度の森の手入れは、これまで7回開催し、延べ子ども40人・大人30人が参加されました。倒木の処理やかかり木の撤去、ネザサの刈取り、排水溝の泥上げ、落葉かき、堆肥の切替し、間伐作業、階段用横木作り、まき割りなどの管理系の作業を実施しました。その他、チョウの食草探し、アゲハチョウの幼虫の食べ物になるカラタチの実生苗の育成、こもまきの中にいる越冬中の生きもの調べなども行っています。毎回、作業中に見つかった生きものの名前を図鑑で調べ、なぜここで暮らしているのかを考え、興味を持続させながら森の手入れの楽しさと奥深さを伝えています。



開園10周年特別企画

● 木の実は恐竜を作ろう（平成29年1月14・15日）

開園10周年の記念として、松ぼっくりの恐竜（T-REX）を参加者と共に制作しました。その事前準備として、ボランティアの方たちが段ボールで実物大の模型を製作しました。



また、設計図から松ぼっくりの個数を算出したり、骨組みにする湾曲した木を園内で探すなど、時間を掛けて用意されていました。

イベント当日は、完成サイズが1.2mと大きいため、「頭・胴・前脚・後脚・尾」の各グループに分かれて、作業を進めました。子ども達は、ペンチを使って松ぼっくり同士をつなげる作業を進め

ました。初めは苦戦していましたが、時間が経つにつれ上達し、予定の時間よりも早く作業を終えることが出来ました。今回制作した恐竜は、森の館内に展示中です。



オートムフェスティバル

森の音楽会

伊関星児氏とknitDuoをお迎えし、音楽会を開催しました。ギターの弾き語りやアイリッシュフルート・フィドル・カホンなどの民俗楽器の音色が森に響き渡り、子ども達が楽しそうに音楽に合わせて踊る姿が見られました。



キッズパルの おいでよ！おはなしの森

南図書館で活動しているキッズパルによる、おはなし会を開催しました。テーマは秋。ドングリの紙芝居のあと、色々なドングリの実や葉を触って、形や模様、大きさを見比べ、種類によって違いがあることを学びました。



絵本作家ひるねの鳥のぬりえ教室

絵本作家ひるね氏による、鳥のぬりえ教室を開催しました。プロが普段使う色鉛筆を使い、秋から冬にこの森にくる鳥を手本に色を塗りました。ぬり方のコツを教わると、筆圧や手の動かし方を工夫しながら描いていました。



ミニガイドウォーク

小学生以上・未就学児対象の2つのグループに分かれて、森を散策しました。いい匂いがする葉っぱや、木道の手すりを歩く昆虫、カタツムリの糞や歩いた痕など、短い時間でしたが、色々な発見をすることが出来ました。



この他に、スタッフが選んだ本が並ぶ「森の図書館」も開催しました。

実施イベント報告

大人のための自然観察会

幅広い年齢層の方にご利用頂くことを目指し、18歳以上の大人の方限定で、自然観察のイベントを実施しています。初心者の方が自然に親しむきっかけ作りとなるように心がけています。毎回、季節やテーマに合わせ、ゆっくりと自然を観察しながら、森の中を散策するイベントとなっています。

6/26カタツムリの観察

きしわだ自然資料館の児嶋氏、柏尾氏をお招きし、観察会を実施しました。午前中は、野外での採集を行い、倒木や石の下にひそむカタツムリをじっくりと探しました。午後からは希望者を募り、より詳細な観察を行いました。1mmに満たない小さなカタツムリも見つかり、カタツムリの多様な世界に引き込まれていました。



野外でのカタツムリ探し



顕微鏡を使った観察

平成28年度は…

全5回シリーズで34人の方にご参加いただきました。実施したテーマは「草花」「カタツムリ」「樹木」「落ち葉」「冬芽」です。今後もイベントを続けていきますので、ぜひご参加ください。

11/26落ち葉の観察

ふれあいの森では11月後半からコナラやタカノツメ、リョウブ等が黄色に色づき始めます（黄葉）。黄色に色づく仕組みや落ち葉とつながる生きものをテーマに、森を散策しました。参加者からは、「きれいな黄葉が、木が生きるためのものだったとは」「地面の下でも生きものがつながっているんだな」などの感想をいただきました。



黄葉の観察



土壌の観察

第10回里山保全ボランティア養成講座

実施報告

今年も堺市の貴重な緑が残る南部丘陵地域を舞台に、樹林管理や農作業、生物調査など里山の保全と管理についての講座を実施しました。10回目を迎えた今回は、2016年6月から11月までの計6回実施し、11名の方が受講されました。その講座内容をご報告します。

第1講 6月4日（土）

<開講式・特別講座①ほか>

初回は当施設での取り組み紹介や園内散策、大阪府立大学の増田教授をお招きし、特別講座①「里山保全と公園管理の役割」を実施し、里山の成り立ちや文化について学びました。



第2講 9月10日（土）

<安全講習・樹林管理体験>

里山保全の要ともいえる樹林の管理と安全な作業の方法などについて、座学と実習を交えて実施しました。木の伐採やネザサの刈取りは、良い汗をかきながらの体験となりました。※7月9日（土）実施予定が雨天のため延期での実施となりました。



第3講 8月13日（土）

<特別講座②・生物調査体験>

特別講座②と題し、大阪府立大学の平井准教授をお招きし、南部丘陵の自然と生物多様性についてお話いただきました。生物調査体験も行い、生きものについて学ぶ一日となりました。



第4講 9月3日（土）

<森の学習体験・自然工作体験・ボランティア概論>

毎月イベントとして実施している「森の学習」と「クラフト教室」での取り組み紹介や、実際にイベントで行った活動の体験をしました。また、ボランティアの目的や意味などを学びました。



第5講 10月1日（土）

<農作業体験>

森の循環について大きな役割を持つ「農作業」について、座学と農地見学、実際に落ち葉堆肥の管理や畑の耕地、畝立てを体験しました。農業の大変さと、「食べる」という事の大切さを学びました。



第6講 11月12日（土）

<修了式・園内散策・意見交換会>

最終回では、今までの講座を踏まえた園内散策や、修了式、意見交換会を実施しました。今まで何気なく見ていた山の風景も、様々な学びの後ではまた違う見え方をしたようです。



受講者のみなさんへ インタビュー！

Q. 印象に残った講座は？

- ・農作業体験。無農薬・無化学肥料で作物を作るのは大変。
- ・特別講座①②。保全の役割や生物多様性について学ぶ事ができた。
- ・最終回の散策。「保全」とは何なのか考えさせられました。

Q. この経験を今後どのように活かしていきたいですか？

- ・里山ボランティアに参加したい。年少者に山の大切さを教えたい！
- ・自然との触れ合いを増やしたい。子どもを連れてボランティア活動へ参加したい。
- ・自然をどのように手をくわえて残して行くかを考えつつ、農作業や樹林管理をしていきたい。

「生物多様性」って？

私は平成28年4月から堺市の生物多様性を普及啓発するために、環境共生課に配属になりました。堺市には獣医師として採用され、これまでは保健所で公衆衛生の仕事をしていました。そんな私は生物多様性の意味を「生き物に色々な種類があること」と思っていました。

正しくは「すべての生き物に違いがあること、また様々な生き物がつながって生きていること」を指します。海や川、山等の自然があること、毎日、食べる米や肉、魚、野菜を使った料理を食べること、私達が当たり前だと思っていることは、実は「生物多様性」の恵みによるものなのです。



堺市では市民の皆さんに「堺の生き物」や「生物多様性」について知ってもらい、この豊かな恵みを将来の子どもたちに継承していくため、種々の取り組みを実施しています。

私がこの1年で実際に関わった事業の一つを紹介したいと思います。

市内小学校の理科授業として『いきもの調査授業』を実施しました。堺自然ふれあいの森からはどんぐり授業の特別講師として参加いただき、生き物が大好きな子も苦手な子も一緒になって、生き物を実際に見て・触って・学ぶ授業を行いました。どんぐりの木がどんな生き物と関係があるのか、という問題に対し、子どもたちはたくさんの意見を出してくれました。



子どもたちが見つけ、感じ、考えた「どんぐりの木と周りの生き物の関係」については、いきもの相関図として堺市生物多様性ウェブサイト『堺いきもの情報館』に掲載しています。子どもたちの学習の成果を一度ご覧ください。当サイトは市内で見つけた生き物の写真投稿が出来たり、いきものクイズに挑戦出来たり、楽しんで学べるようになっています。ここで紹介きれない堺の生き物の今を知ることが出来るので、是非アクセスしてみてください。

(以下、QRコードよりアクセス出来ます。)

今後も「堺の生き物」について、「生物多様性」について市民の皆さんに知ってもらえるよう、私自身も一つずつ勉強しながら取り組んでいきたいと思っています。



堺いきもの情報館

検索

<http://www.sakai-ikimono.jp/>

このQRコードから
堺いきもの情報館に
アクセスできます。



●○○●○○●○○ お問い合わせ ●○○●○○●○○

堺自然ふれあいの森 森の館

〒590-0124 大阪府堺市南区畑1740番地
TEL 072-290-0800 FAX 072-290-0811
ホームページ <http://www.sakai-fureainomori.jp>



交通 案内

お車の場合は
「堺公園墓地」
を目指してお越
し下さい。



発行：堺自然ふれあいの森 ふれあいの森パートナーズ(指定管理者)
※ふれあいの森パートナーズは、株式会社生態計画研究所と
NPO法人いっちゃんクラブの連合体です。